

取扱説明書

ハイバキュームユニット

L-PAK 250-5 ITEM No.854906

L-PAK 250-6 ITEM No.854907



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項を良く理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

－ はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品を安全に正しくかつ効率的にお使いいただくための重要な事項を記載しています。本製品をお使いになる前に本書を熟読し、特に本書の冒頭の「警告・注意事項」の項をよくお読みになり、ご理解された上でお使いください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

－ 使用目的

本製品は、車両の整備や清掃、作業台及び床の清掃、切削・切断時に発生する粉塵、溶接ヒュームなどをダクトやリールなどのアプリケーションと併用して集塵し屋外に排出させる装置です。なお、車両の排気ガスなどの吸引、排出には使用できません。また、本製品で捕集できるのは粉塵などの粒子状物質のみで、ガス成分の浄化は行うことができません。

－ 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、及び物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 設置上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告

-  - 本製品は防爆仕様ではありません。爆発や引火などの原因となりますので油庫内など可燃性雰囲気での使用はおやめください。
-  - 配管には導電性を有する物などを用い、アースを取るようにしてください。粉塵爆発を起こす危険性が低くなります。ただし、上記のような措置を講じても、アルミニウム粉末やマグネシウム粉末、チタニウム粉末は絶対に吸引しないでください。
-  - 本製品への配線は電気の有資格者が行ってください。
-  - 排気は必ず屋外に排出してください。排気が高温の為、室内の温度が上がるばかりか、溶接ヒュームなどを吸引している場合、排気中に人体に有害なガスが含まれている場合があります。
-  - 本製品を移動する際は、フォークリフトやハンドパレットトラックなどを用い、転倒などに十分に注意し、ゆっくり行ってください。転倒した場合、作業者が下敷きになり重傷を負う危険性や本製品の故障の原因となります。
-  - 本製品は防雨型ではありません。屋外への設置はおやめください。故障や感電などの原因となります。また、屋内においても、高温多湿になる場所への設置はおやめください。密閉された場所を避け、水平で風通しの良い場所に設置してください。

注意

-  - 本製品は定期的なメンテナンスを行うことで、その性能を維持することができます。メンテナンスの際に必要なスペースが確保できる場所に設置してください。
-  - 吸引側の配管には、スパイラルダクトを使用しないでください。強力な負圧でダクトが潰れます。また、配管にホースを使用する場合、負圧に十分に耐えられるホースを用いてください。
-  - 本製品に供給する圧縮エアはオイルなどが混入しないドライエアを使用してください。
-  - 本製品に供給する圧縮エアはレギュレータで0.6~0.7 MPaに調整して供給してください。
(最大 1.0 MPa)

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告

-  - 本製品の内臓フィルターを取外した状態での使用はおやめください。回収した粉塵などが濾過されずに大気中に放出され危険です。
-  - 引火性や爆発性あるいは発火性物質を吸引しますと、火災または爆発あるいは粉塵爆発を起こし、周辺の作業員などが死亡や重大な障害を負う危険性や装置が故障する可能性があります。下記のような物質を絶対に吸引しないでください。
 - 引火性物質 : ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油など
 - 爆発性物質 : ニトログリセリンなど
 - 発火性物質 : アルミニウム、マグネシウム、亜鉛、チタンなどの爆発性金属
赤リン、黄リンなど
-  - 車両排気ガスの吸引や排出にはお使いにならないでください。有害ガス吸引による死亡や障害などを負う危険性や装置が故障する可能性があります。
-  - 上部のカバーを外した状態での運転はおやめください。フィルタークリーニングバルブ作動中に過ぎて手や物を挟んだ場合、切断や装置の故障の原因となります。
-  - 本製品の不必要な分解、改造は行わないでください。充電部やモーター回転部などに接触し、事故や感電などの原因になります。
-  - 非常に強い吸引力ですので、過ぎて目や耳などにホースやノズルの先端部が接触した場合、失明などの重大な障害を負う危険性があります。この点を作業員には十分理解させてください。
-  - 本製品及び周辺機器のメンテナンスを行う場合には必ずリレーボックスのブレーカーを OFF にしてください。故障や感電の原因となります。
-  - 本製品を濡れた手で操作しないでください。故障や感電の原因となります。

⚠ 注意

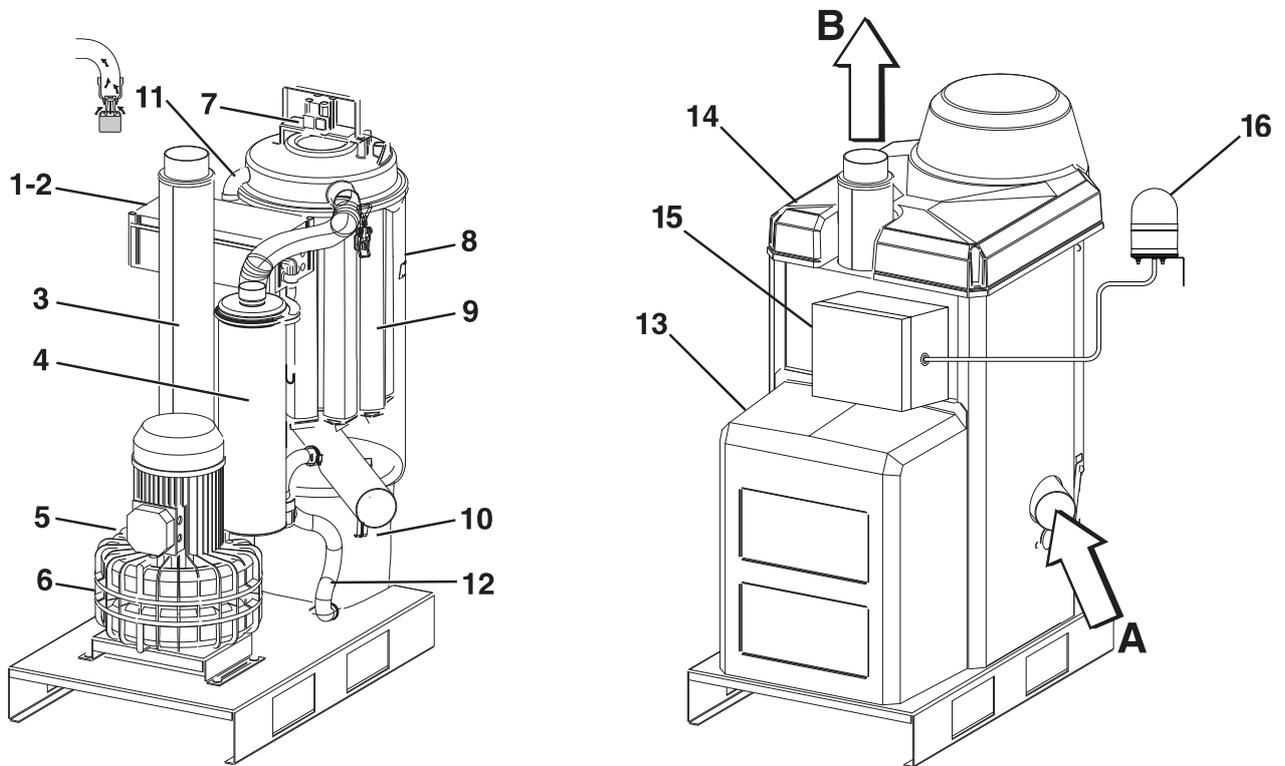
- 
 - タバコなどの裸火を吸引することは絶対におやめください。ダクト内部や本製品の集塵部で火災が発生し、重大な事故へと繋がります。
- 
 - 大きなウェスや新聞紙などは吸わないでください。配管内に詰まり、システムが使用不能になる可能性があります。
- 
 - オイルや水分を多く含むゴミや粉塵の吸引は、お止めください。配管の内壁に固着し、詰まらせる可能性やフィルターが短期間で目詰りを起こします。オイルや水分を多く含む粉塵（工作機械の切削くずなど）を吸引する場合は、別売のプレセパレーターをお買い求めください。
- 
 - 1分以内での起動と停止の繰り返しはお止めください。ファンの故障の原因となります。
- 
 - 本製品は定期的なメンテナンスを行うことで、その性能を維持することができます。必ず日常点検を実施し、定期的に当社指定のサービス担当によるメンテナンスを受けてください。
- 
 - フィルターを交換する場合やダストボックスからダストパックを回収する場合には、必ず電源を切った状態で行ってください。不意にファンが動きだし微細な粉塵を撒き散らす原因となります。
- 
 - 有害な粉塵を吸引する場合やフィルターを交換する場合、あるいはダストボックスからダストパックを回収する場合には、取扱いを誤ると微細な粉塵が大気中に飛散する可能性がありますので、防護マスクや保護メガネなどの保護具を装着してください。
- 
 - 使用済のフィルターはビニール袋などで包んだ上で各自治体の条例などに従って廃棄してください。
- 
 - 使用前にダストボックスを確認し、使用状況に応じてダストパックごと破棄し、ダストボックス内を清掃してください。ダストボックスにゴミが溜まっていますと、フィルター性能の低下やゴミが飛散する原因となります。
- 
 - 故障した場合、必ず当社指定のサービス担当による修理を受けてください。部品交換や修理が適切に行われないと本製品の性能が引き出せないばかりか、火災や再故障、感電による死亡の可能性があります。
- 
 - 本製品の吸引口と排気口が確実に接続された状態で使用してください。
- 
 - フィルターを交換した後は、フィルタークリーニング部とフィルターケースを確実に取付けてください。
- 
 - 屋外への排出口を塞ぐことはお止めください。
- 
 - 本製品を初めて使用する際には、サイレンサーフードを外して、必ずモーターの回転方向を確認してください。適切な回転方向でない場合、本製品は作動しません。
- 
 - 本製品は粉塵の吸引・濾過を目的としているため、ガスの濾過はできません。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 設置上の注意	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 装置本体	1
1.2 梱包内容	1
1.3 コントロールボックス内部	2
1.4 コントロールパネル	2
1.5 リレーボックス内部	2
2. 設置・配管・配線	
2.1 設置	3
2.2 起動中ランプ	3
2.3 配線及び配管の接続概略図	3
2.4 配線	4
2.5 圧縮エア配管	4
2.6 配管	4
3. 使用前の準備	
3.1 位相の確認	4
3.2 起動及び停止の確認	4
4. 使用方法	
4.1 パキュームホースリール使用の場合	5
4.2 バランサーユニット使用の場合	5
4.3 ペンダントスイッチ使用の場合	5
4.4 本製品で起動及び停止を行う場合	5
4.5 フィルタークリーニング	6
5. 保守・点検	
5.1 トラブルシューティング	7
5.2 保守・点検	7
6. 仕様	8
7. 主要寸法	8
8. 分解図・パーツリスト	
8.1 部品分解図	9
8.2 パーツリスト	9
9. 製品保証登録シート	10
10. 保証規定	11

1. 各部の名称

1.1 装置本体

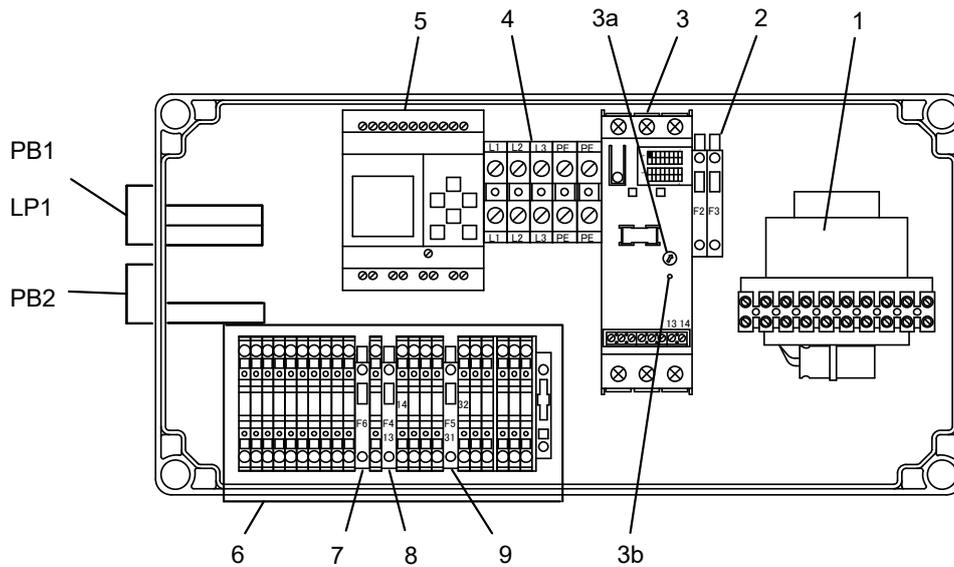


1	コントロールボックス	10	ダストボックス
2	操作パネル (前面)	11	バキュームリミットバルブ
3	サイレンサー	12	ホース
4	マイクロフィルターケース	13	サイレンサーフード
5	サーマルスイッチ	14	上カバー
6	サイドチャンネルファン	15	リレーボックス
7	フィルタークリーニングバルブ	16	起動中ランプ (信号線10 m付)
8	フィルターケース	A	吸込口
9	フィルター	B	排気口

1.2 梱包内容

開梱後、直ちに輸送中の損傷がないか及び付属品の欠品がないか確認してください。
また、締結部及び配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増締めを行ってください。

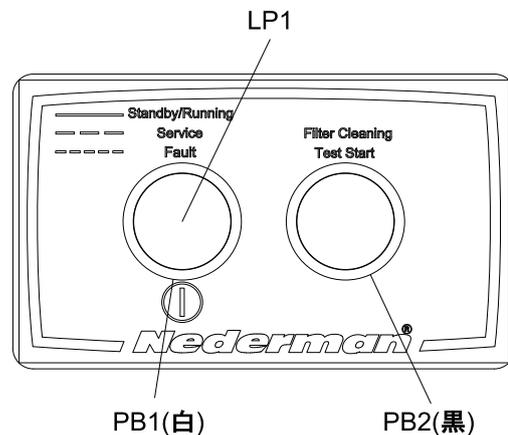
1.3 コントロールボックス内部



1	トランス	6	端子台
2	トランス保護用ヒューズ (F2,F3) 1[A](Slow)	7	11-12 (F6) リモートコントロール端子 ヒューズ付き 50[mA](Fast)
3	ソフトスターター	8	13-14 (F4) 起動信号端子 ヒューズ付き 50[mA](Fast)
3a	電流設定ダイヤル	9	31-32 (F5) DC24Vアクセサリ用電源 ヒューズ付き 1[A](Slow)
3b	LEDインジケータ		
4	三相200V電源及びアース線用 端子台 (L1,L2,L3,E)		
5	シーケンサー		

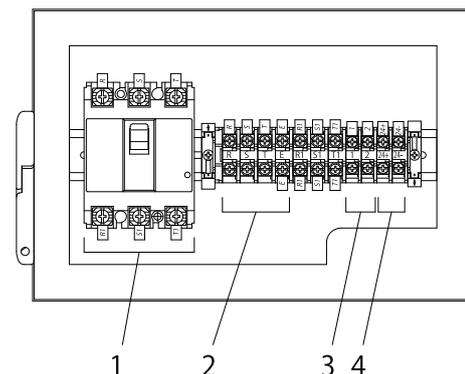
1.4 コントロールパネル

LP1	コントロールランプ スタンバイ状態 (点灯) 異常・メンテナンスお知らせ時 (点滅)
PB1	メインスイッチ
PB2	テストスタートスイッチ (スタンバイ時) フィルタクリーニングスイッチ (運転時)



1.5 リレーボックス内部

1	ブレーカ
2	三相200V電源及びアース端子台 (R.S.T.E)
3	起動用信号線端子台 (1,2)
4	起動中ランプ出力線端子台 (24+,24-)



2. 設置・配管・配線

2.1 設置

- 1) 屋内の水滴などのあたらない場所に設置してください。(洗車場脇などはやめてください)
- 2) 周辺温度が-10~40℃の範囲で使用できる環境に設置してください。
- 3) 周辺の相対湿度が85%以下の場所に設置してください。(ただし結露しないこと)
- 4) 本製品は水平な床面に設置してください。
- 5) 本製品のメンテナンスやゴミ袋の交換などを実施できるスペースを確保してください。(機器前面及び両側面各1m程度)
- 6) 小さな密閉された部屋には設置しないでください。但し、十分に換気ができる状況が確保されていればこの限りではありません。
- 7) 最も遠い吸込口から配管長が200m以内になるような場所に設置してください。

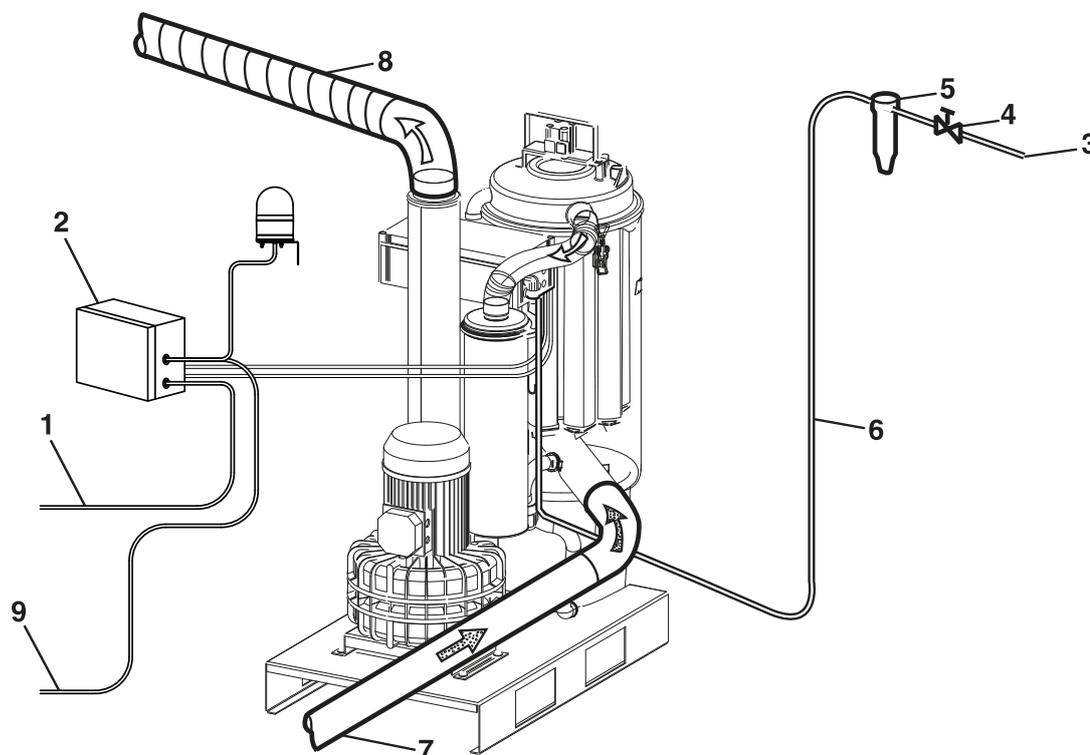
<NOTE>

本製品は半移動式の機器となります。設置後もフォークリフトなどで簡単に移動することができます。機器を移動しない場合は、ベースにある穴を用いてアンカーボルトなどで固定してください。

2.2 起動中ランプ

ランプの点灯・消灯が分かる場所を選び、4か所の取付穴を利用して壁などに確実に取付けてください。起動中ランプには信号線が10m付いています。10mを超える場所に起動中ランプを取付ける場合には、信号線を延長してください。なお、信号線にはプラスとマイナスがありますので正しく接続してください。

2.3 配線及び配管の接続概略図



1	電源ケーブルAC200V 50/60Hz 5.5 mm ² (4芯)	5	フィルター及びドライヤ
2	ブレーカ(配線用遮断器)…リレーボックス内	6	ナイロンチューブ(外径6mm)
3	圧縮エア	7	吸込側配管(外径100mm)
4	減圧弁	8	排出側配管(100mmスパイラルダクト)
		9	信号線(各アプリケーションからリレーボックスへ)

2.4 配線



注意



- 配線は、有資格者が行ってください。

本製品のコントロールパネルのみで作動させる場合は電源線が、本製品を他のアプリケーションのスイッチなどを使用して作動させる場合は電源線と信号線が必要になります。

- 1) 本製品のリレーボックス内端子台にある R、S、T 端子及び E 端子に電源線を接続してください。
(2.3 配線及び配管の接続概略図の 1)
電源線は公称断面積 5.5 mm² 以上のものを使用してください。
- 2) 他のアプリケーションのスイッチなどを使用する際には、本製品のリレーボックス内端子台にある 1、2 端子に信号線を接続してください。
信号線は公称断面積 1.25 mm² 以上のものを使用してください。
- 3) 本製品のリレーボックス内端子台にある 24+、24-T 端子に起動中ランプの信号線を接続してください。
信号線にはプラスとマイナスがありますので正しく接続してください。

2.5 圧縮エア配管

本製品には、フィルタークリーニングバルブを作動させる為に圧縮エアが必要です。

必要とする圧縮エアの圧力は、0.6~0.7 MPa (最大 1.0 MPa) です。本製品を設置する場所に高压ラインしかない場合、レギュレーターなどを用いて減圧してください。また、コンプレッサオイルやゴミ、水分などを多量に含む圧縮エアの場合、フィルターストレーナーやドライヤなどを設置し、これらを除去してください。

本製品背面にあるチューブフィッティングに外径 6 mm のナイロンチューブにて供給してください。

2.6 配管

本製品の背面にある吸込口に配管を接続してください。接続には、別売のホースまたは鋼管を用いてください。吸込側の配管には、スパイラルダクトは使用しないでください。次に本製品の上面にある排気口に排気側の配管を接続してください。排気側には、φ100 のスパイラルダクトを用い、必ず屋外に排出してください。排出側ダクトの先端には防虫網を設けてください。

3. 使用前準備

3.1 位相の確認

設置が完了したら、使用前の準備を行います。

- 1) 本製品設置、配管、配線がすべて完了していることを確認してください。
- 2) リレーボックス内のブレーカを入れ、本製品に電力を供給してください。
- 3) 電源投入後、しばらく (5~10 秒) して本製品正面の白いランプ (LP1) が点灯したことを確認してください。
もし、白いランプが点灯しない場合は、メインスイッチ (PB1) を押して、ランプを点灯させてください。
- 4) 白いランプの点灯を確認したら、テストスタートスイッチ (PB2) を押して、本製品を起動させてください。
- 5) 正常にファンが回り、且つ白いランプが点灯したままの状態であれば、正相です。
- 6) 逆相の場合、白いランプが点滅し、ファンが回りません。また、コントロールボックス内の LED インジケータが、三回点滅を繰り返します。リレーボックス内の R と T 端子に接続した電線を入れ替えてください。
四回点滅を繰り返している場合、欠相状態を示しています。一次側電源をご確認ください。
- 7) コントロールボックス内のソフトスターターの電流設定値を確認してください。(50Hz の場合、28A。
60Hz の場合、29A)

3.2 起動及び停止の確認

リレーボックス内の 1 と 2 端子の起動信号による起動及び停止を確認します。

- 1) 「3.1 位相の確認」の 1) ~3) を実施してください。
- 2) 1 及び 2 の端子を短絡させてください。ファンが起動すれば、正常です。
- 3) 1 及び 2 の端子の短絡をやめ、約 10 分後に停止すれば、正常です。

4. 使用方法

4.1 バキュームホースリール使用の場合

- 1) リレーボックス内のブレーカを ON にし、本製品に電源を投入してください。
- 2) 電源投入後、しばらく（5～10 秒程度）して本製品正面の白いランプ（LP1）が点灯したことを確認してください。白いランプが点灯しない場合、白いボタン（PB1）を 1 回押してランプを点灯させてください。
- 3) バキュームホースリールのホースを任意の位置まで引き出し、作業を行ってください。ホースを引き出した時点で、本製品が起動します。バキュームホースリールの取扱いについては、バキュームホースリールの取扱説明書をご覧ください。
- 4) 作業が終了したら、ホースを巻取ってください。
- 5) 本製品に内蔵されたタイマーにより、10 分後に本製品が停止します。ただし、複数のリールで使用している場合、すべてのリールのホースが巻取られた時点から 10 分後となります。再度ホースを引き出せば、通常通り使うことができます。
- 6) 本製品が停止後、再度使用するときは、3) ～ 5) の操作を繰り返し行ってください。
- 7) 長時間使用しない場合、リレーボックス内のブレーカを OFF にしてください。

4.2 バランサーユニット使用の場合

- 1) リレーボックス内のブレーカを ON にし、電源を投入してください。
- 2) 電源投入後、しばらく（5～10 秒程度）して本製品正面の白いランプ（LP1）が点灯したことを確認してください。白いランプが点灯しない場合、白いボタン（PB1）を 1 回押してランプを点灯させてください。
- 3) バランサーユニットのホースを任意の位置まで引出し、ホースに取付けてあるハンドバルブを開け、作業を開始してください。ハンドバルブを開けた時点で、本製品が起動します。
- 4) 作業が終了したら、ハンドバルブを閉じ、ホースを元の位置まで戻してください。
- 5) 本製品に内蔵されたタイマーにより、10 分後に本製品が停止します。
- 6) 再度使用するときは、3) ～ 5) の操作を繰り返し行ってください。
- 7) 長時間使用しない場合、リレーボックス内のブレーカを OFF にしてください。

4.3 ペンダントスイッチ使用の場合

- 1) リレーボックス内のブレーカを ON にし、本製品に電源を投入してください。
- 2) 電源投入後、しばらく（5～10 秒程度）して本製品正面の白いランプ（LP1）が点灯したことを確認してください。白いランプが点灯しない場合、白いボタン（PB1）を 1 回押してランプを点灯させてください。
- 3) 粉塵などを吸引するアプリケーションを準備してください。
- 4) ペンダントスイッチの ON ボタンを押すと本製品が起動します。
- 5) ペンダントスイッチの OFF ボタンを押してください。
- 6) 本製品に内蔵されたタイマーにより、10 分後に本製品が停止します。ただし、複数のペンダントスイッチで使用している場合、すべてのペンダントスイッチが OFF になった時点から 10 分後となります。再度ペンダントスイッチを ON すれば、通常通り使うことができます。
- 7) 再度使用するときは、3) ～ 5) の操作を繰り返してください。
- 8) 長時間使用しない場合、リレーボックス内のブレーカを OFF にしてください。

4.4 本製品で起動及び停止を行う場合

- 1) リレーボックス内のブレーカを ON にし、電源を投入してください。
- 2) 電源投入後、しばらく（5～10 秒程度）して本製品正面の白いランプボタンが点灯したことを確認してください。白いランプボタンが点灯しない場合、白いランプボタンを 1 回押してランプを点灯させてください。
- 3) 作業が開始できる状態にしてください。
- 4) 本製品正面の黒いボタン（PB2）を押してください。本製品が起動します。
- 5) 作業が終了したら、白いランプボタンを押してください。本製品が停止し、白いランプボタンも消灯します。
- 6) 再度使用するときは、3) ～ 5) の操作を繰り返し行ってください。
- 7) 長時間使用しない場合、リレーボックス内のブレーカを OFF にしてください。

4.5 フィルタークリーニング

- 1) 前項までのいずれかの方法で本製品を起動させてください。
- 2) すべての吸込み口を閉じ、配管内の負圧を上げてください。
- 3) 本製品正面の黒いボタン（PB2）を押してください。すぐに大きな作動音が三回連続で発生します。
- 4) 白いボタン（PB1）を押してください。本製品が停止し、白いランプも消灯します。

5. 保守・点検

5.1 トラブルシューティング

状況・問題			考えられる原因	点検内容・対策
	コントロールランプ (LP1)	コントロールボックス内のLEDインジケータ (3b)		
コントロールランプ (LP1) が点灯しない	消灯	消灯	一次側電源が供給されていない	テスターなどで一次側の電源を確認する。
コントロールランプ (LP1) が点滅している	点滅 (遅い)	-	累積2000時間が経過	異常ではありません。弊社のサービスマンによる点検時期を知らせています。 ※
	点滅 (早い)	-	下記のいずれかの異常	下記を参照してください。
始動の信号を出しても動かない	点滅 (早い)	点滅 (3回)	逆相である	L1とL3に接続した電線を入替える。
	点滅 (早い)	点滅 (4回)	欠相である	テスターなどで一次側の電源を確認する。
	点滅 (早い)	点滅 (1回)	過電流保護回路の作動	しばらく放置し、自動リセットを待つか、リセットボタンを押す。
	点滅 (早い)	点滅 (2回)	加熱保護回路の作動	しばらく放置し、モーター及びファンが冷めるのを待つ。
	点滅 (早い)	点滅 (5回)	位相不均衡	一次側の電流を測定。位相ごとの不均衡を解消する。
モーターは始動するが、すぐに止まる	点滅 (早い)	点滅 (4回)	欠相である	テスターなどで一次側の電源を確認する。
	点滅 (早い)	点滅 (1回)	過電流保護回路の作動	しばらく放置し、自動リセットを待つか、リセットボタンを押す。
	点滅 (早い)	点滅 (2回)	加熱保護回路の作動	しばらく放置し、モーター及びファンが冷めるのを待つ。
モーターが突然止まり、再始動しない	点滅 (早い)	点滅 (5回)	位相不均衡	一次側の電流を測定。位相ごとの不均衡を解消する。
	点滅 (早い)	点滅 (1回)	過電流保護回路の作動	しばらく放置し、自動リセットを待つか、リセットボタンを押す。
	点滅 (早い)	点滅 (2回)	加熱保護回路の作動	しばらく放置し、モーター及びファンが冷めるのを待つ。
	点滅 (早い)	点滅 (6回)	ソフトスタータの異常	ソフトスタータの点検または交換をする。 ※
			ファンの異常	ファンの点検または交換をする。 ※

※お買い上げの販売店または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

5.2 保守・点検

■日常点検・保守 (お客様による)

- ・ ファン稼動時に異音や振動などがいないか確認してください。
- ・ フィルターに破れやほつれがないか、目視にて確認してください。
- ・ フィルター容器を定期的 (使用頻度に応じて。毎日~3日に一度程度) に確認し、ゴミが多くなってきたらダストパックを交換してください。
- ・ フィルタークリーニングを定期的に行ってください。

■定期点検 (弊社サービスマンによる)

使用累積時間が 2000 時間を経過するごとにサービスランプがゆっくりと点滅します。点滅を確認したら、数日中にお買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へ連絡し、弊社サービスマンによる保守点検を受けてください。

■消耗品など

消耗品

品番	名称	仕様
V114180	メインフィルター	PP製 表面積1.6 m ²
V115010	ダストパック	620x750

補修部品 (破損した場合、交換してください。)

品番	名称	仕様
V073010	上カバー	ビス付き
V073020	サイレンサーフード	フード単体

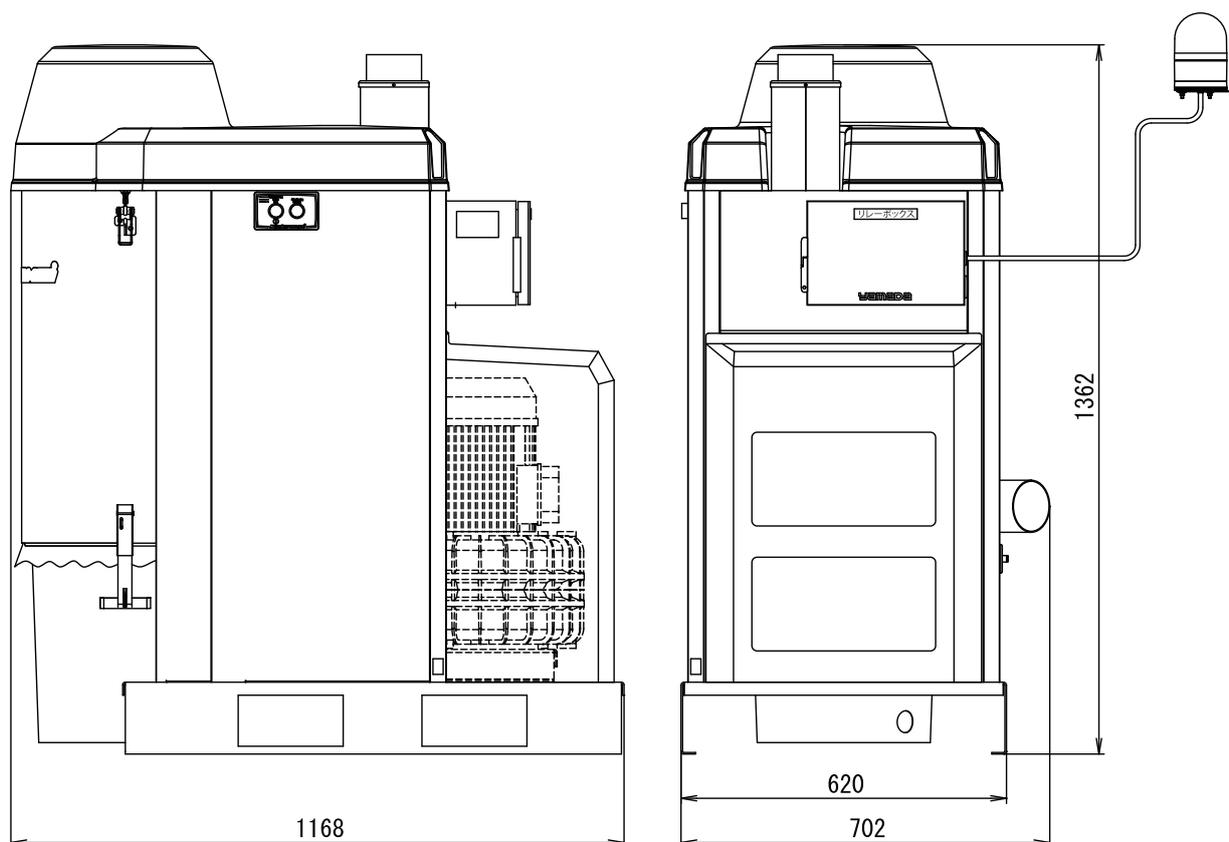
■オプション

品番	名称	仕様
V114120	マイクロフィルター	特殊セルローズ製
V132900	スパイラルニップル	排気側スパイラルダクト接続用ニップル
SP-013560	P-100ホース	吸気側ダクト接続用ホース 2 m

6. 仕様

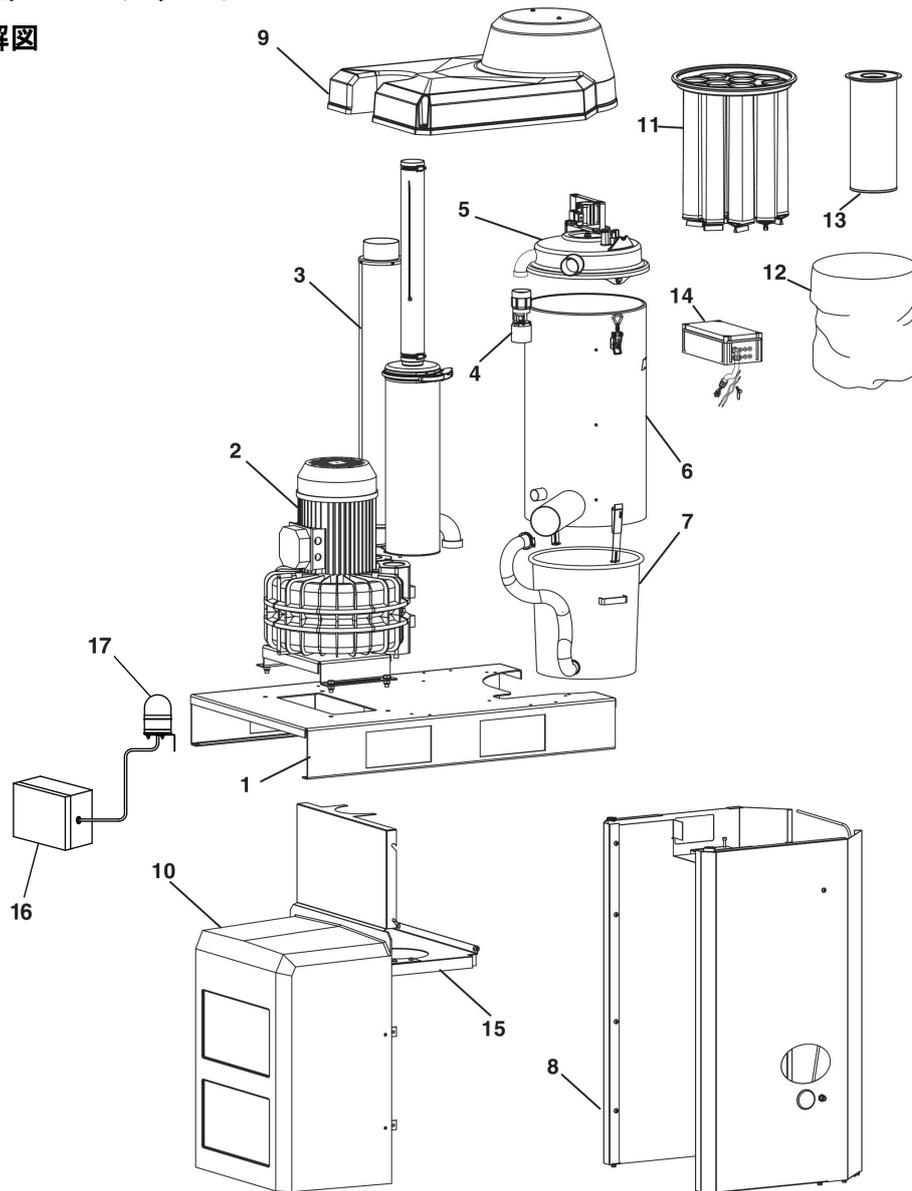
製品番号	854906	854907
製品名称	L-PAK 250	
電源	三相AC200V	
電源周波数	50 Hz	60 Hz
ファン容量	5.5 kW	6.3 kW
定格電流	25.2 A	26.8 A
回転数	2900 rpm	3500 rpm
最大負圧	-21.5 kPa	-20.5 kPa
風量 (-15 KPa時)	220 m ³ /h	285 m ³ /h
風量(無負荷時)	420 m ³ /h	495 m ³ /h
バキュームリミットバルブ質量	1.59 kg	1.44 kg
接続口径	IN	外径100 mm
	OUT	内径100 mm
メインフィルター表面積	1.6 m ²	
質量	153 kg	
騒音	64 dB	
IP	IP54	

7. 主要寸法



8. 分解図・パーツリスト

8.1 分解図



8.2 パーツリスト

番号	名称	員数
1	パレット	1
2	ファン	1
3	サイレンサー	1
4	バキュームリミットバルブ	1
5	フィルタークリーニングバルブ組立	1
6	フィルターケース	1
7	ダストボックス	1
8	フレーム組立	1
9	上カバー	1
10	サイレンサーフード	1
11	メインフィルター	1
12	ダストパック	1
13	マイクロフィルター(オプション)	1
14	コントロールボックス	1
15	アップグレードキット	1
16	リレーボックス	1
17	起動中ランプ	1

9. 製品保証登録シート

・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	フリガナ ご住所 _____	ご所属 _____																												
	ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報は当社の個人情報方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL.03-3777-4101
FAX.03-3777-3328

10.保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
- (11) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202102.2529 EXT018U